

# 第3学年1組 外国語活動学習指導案

令和元年11月26日（火）第5校時

英語ルーム

指導者

ALT

1 単元名 友達のためにサンドウィッチを作ろう！ Let's make sandwiches for my friend !

## 2 単元観

本単元では、「児童の身近な暮らしにかかわる場面」として、「食べ物にかかわる学習」を題材として取り上げる。コミュニケーション活動としては、食べ物を話題にして、自分や相手の好きな物を伝えたり、尋ねたりするインタビューを中心に行う。具体的には、児童の関心を高めるために、海外の食べ物を紹介する。食べ物に関する外来語と日本語を比較し、音声の相違点や共通点を知ることは、お互いの文化に気付き、理解することにつながる。次に、食べ物にかかわる表現を用いたコミュニケーション活動を通して「自分の気持ちや考えを伝え合う」ことで、友達やALTと「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育む。さらに、自分が食べ物を作るために必要な材料や個数について、互いに尋ねたり答えたりするコミュニケーションを通じて、思考力・判断力・表現力等、国際社会で求められるコミュニケーション能力の素地を養う。

本時のコミュニケーション活動では、自分が欲しい食べ物を伝えたり、相手が欲しい食べ物を尋ねたりする「ショッピング活動」を行う。外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験することを通して、学級の望ましい人間関係づくりにつながる。

モジュール（短時間）学習では、本単元でねらう「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」と「コミュニケーション能力の素地」を育むために、食べ物に関する語彙や“What fruit/vegetable do you like?” “What do you want~?” “How many?”などの表現を用いたコミュニケーションに慣れ親しむ活動を設定する。週2回、モジュール学習で慣れ親しんだコミュニケーションをもとに、45分間の授業では、コミュニケーション活動を通して、相づちや反応を示し合いながら、自分や友達の考えを伝え合う。その活動では、児童が自信をもってコミュニケーションを図れるよう、また「分かち合うこと（コミュニケーションの原義）」の大切さと楽しさ（成功体験）を積ませる。

## 3 児童観（略）

#### 4 指導観

パターン・プラクティス（表現習得のために繰り返し行う口頭練習）やダイアログ（対話）の暗唱で終わることがないように様々な活動を通して、児童が主体的にコミュニケーションを図り、表現や語彙にも慣れ親しむことができるよう工夫していく。指導に当たっては、「食べ物（野菜・果物）」を題材とし、「友達のためにサンドウィッチを作ろう」というゴールを児童に伝える。友達が喜ぶサンドウィッチを作るために、好きな物をインタビューし、お店での買い物のやり取りを通して、サンドウィッチの材料を集めるという目的をもたせながらコミュニケーション活動を進める。児童が目的意識をもって買い物ができるようにする。店員役と客役など役割分担を明確にするとともに、お互いに会話をする中で、コミュニケーションのポイントである声の大きさや視線の配り方、表情、反応の仕方についても指導する。

以上のような活動を設定することで、外国語（英語）によるコミュニケーションに「ふれる、慣れる、親しむ」という一連の活動の中で、ALT や友達と積極的にコミュニケーションを図る楽しさに気付かせ、自分の気持ちや考えを伝える活動を通して、児童の主体性や論理的な思考力・判断力・表現力及び行動力の素地を育てていきたい。

#### 5 研究テーマとの関連

戸田市が育てたい児童生徒像	①誰とでも主体的に関わろうとする子供	②互いに気持ちや考えを英語で伝え合う子供	③豊かな国際性を身に付けた子供
本単元で育みたい児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物にかかわる表現を用いてALT や友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・ジェスチャーなどを使って、相手に反応しながらコミュニケーションを豊かに図ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT や友達と好きな物や欲しい物について尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の食べ物について知り、日本以外の国の生活に興味を持っている。</li> </ul>

戸田市の小学校「外国語活動」における CAN-DO リスト形式によるコミュニケーション学習の到達目標によると、「話すこと（やり取り）」の到達目標では、「自分の好きなことや身の回りの物について動作を交えて伝え合うことができる」ことを第3学年修了時の目標の一つとしている。本単元においては、ジェスチャーなどを使って、自分の好きな食べ物を伝えたり、友達の好きな食べ物を聞いたりすることが含まれている。

本市では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善と指導力の向上をテーマのひとつとして掲げ、全小・中学校で研究を進めている。そこで「戸田市立小・中学校 外国語指導と評価におけるルーブリック」を活用し、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を図る。

本単元では、以下のルーブリック項目を主に授業改善を図る。



8 単元の指導と評価の計画（全4時間扱い） 本時 3 / 4

過程	第1時	第2時	第3時	第4時
目標	外国の食文化を知り、日本以外の国の食文化に興味を持つ。	野菜や果物などの英語表現に慣れ親しみ、自分の考えを伝えている。	ALT や友達に、何がいくつ欲しいか積極的に伝えている。	友達に自分が作ったサンドウィッチを紹介する。
1 あいさつ	Hello. How is the weather? English Rule 確認		Today's Menu	
2 ウォームアップ	Hello, how are you? I'm~. What food do you like? I like ~.			
3 言語活動 〔コミュニケーション活動〕	<b>【ふれる】</b> 本単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 <b>【慣れる】</b> アメリカ、中国、韓国等の外国の食べ物を知る。 <b>【親しむ】</b> 外国の食べ物について慣れ親しむ。	<b>【ふれる】</b> ポインティングゲーム <b>【慣れる】</b> 野菜や果物などの英語表現について慣れ親しむ。 <b>【親しむ】</b> 友達の好きな物を尋ねたり、自分が好きな物を答えたりする。	<b>【ふれる】</b> 3 ヒントゲーム <b>【慣れる】</b> ○グループインタビュー <b>【親しむ】</b> 友達が食べたいサンドウィッチを作る。	<b>【ふれる】</b> ミッシングゲーム <b>【慣れる】</b> 自分が作ったサンドウィッチ紹介の練習をする。 <b>【親しむ】</b> 自分が作ったサンドウィッチを友達に紹介する。
4 振り返り	評価規準に沿った振り返りをもとに、本時の学習について自己評価する。			
5 あいさつ	Thank you. See you next time.			

9 本時（第3時）のねらい、評価観点、評価規準

- ・ねらい：自分や相手が欲しい物について、友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図る。
- ・評価観点：積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（資質の育み）
- ・評価規準：自分の欲しい野菜や果物や、相手の欲しいものについて、伝えたり尋ねたりする活動を通して、友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

10 本時の展開

※S:児童 HRT:担任 ALT:ALT

過程	○児童の活動	ティームティーチング		・指導上の留意点 ◎教材 ◆評価規準と方法
		HRT の活動	ALT の活動	



	<p><b>【発話例】</b>  A:Hello!  B:Hello!  A:How are you?  B:I'm ~. How are you?  A:I'm ~. What do you want?  B:I want onion.  A:How many?  B:One, please.  A:O.K. Here you are. / Sorry, I don't have it.  B:Thank you.  A:You're welcome. See you.</p>			
親し む 25 分	<p><b>○ショッピング活動</b>  サンドウィッチを作る  ために必要な材料を  買いに行く。</p> <p><b>【発話例】</b>  A:Hello!  B:Hello!  A:What do you want?  B:I want egg.  A:How many?  B:Two, please.  A:O.K. Here you are.  B:Thank you.</p> <p><b>○紹介タイム</b>  友達にオリジナルサン  ドウィッチを紹介する。</p> <p><b>【発話例】</b>  A:Hello!  B:Hello!  A:This is my original sandwich for (                    ).  Look! (Two tomatoes and bacon.)  B:It's very good(nice)!  A:Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT と一緒にデ モンストレーシ ョンをする。</li> <li>・活動が滞ってい る児童を見つ け、例を示した り一緒に発話し たりして支援す る。</li> <li>・コミュニケーシ ョンの約束を意 識するよう声を かける。</li> <li>・ALT と一緒にデ モンストレーシ ョンをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT と共にデモ ンストレーショ ンをする。</li> <li>・HRT と共にデモ ンストレーショ ンをする。</li> </ul>	<p>◎材料カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンドウィッチのパン、ソ ース、中身の具材を調達す るよう伝える。</li> <li>・店番と客に分かれて、活動 を行い、早く作り終わつた ら、誰かのために二つ目を 作るように伝える。</li> <li>・役割交代の際、よかった点 をフィードバックする。</li> </ul> <p>◆自分の欲しい野菜や果物を 伝えたり、相手の欲しい野 菜や果物を尋ねたりする活 動を通して、友達やALT と積極的にコミュニケーシ ョンを図ろうとしている。</p> <p><b>【資質の育み】〈行動観察〉</b>  <b>【評価基準：A,B,C】</b>  A:ジェスチャーを用い、相手 の言葉に反応しながら、積 極的に自分の欲しい野菜や 果物を伝えたり、相手が欲 しい野菜や果物を尋ねたり しようとしている。  B:積極的に自分の欲しい野菜 や果物を伝えたり、相手が 欲しい野菜や果物を尋ねた りしようとしている。</p>

				<p>C: 積極的に自分の欲しい野菜や果物を伝えたり、相手が欲しい野菜や果物を尋ねたりしようとしていない。</p> <p>・見えるものを使って作ったサンドウィッチを映しながら紹介させる。</p>
振り 返り 5分	<p>○本時の学習で身についたことを確認する。</p> <p>○振り返りカードを書く。</p>	<p>・児童が欲しい物を買えたかどうかを確認する。</p> <p>・児童の活動で好ましい変容や相手に反応を示していた活動について総括する。</p>	<p>・児童の活動を称賛する。</p>	
挨拶	<p>HRT : That's all for today. Did you enjoy communication?</p> <p>○日直が号令をかける。</p> <p>S: Thank you, Mr. . Thank you, Ms. . Thank you, everyone. See you next time.</p> <p>ALT: See you.</p>			<p>・元気に挨拶させる。</p>

## 1 1 板書計画

友達がよろこぶサンドウィッチを作ろう

パン屋  
絵カード  
(形)

八百屋  
絵カード  
(野菜)

果物屋  
絵カード  
(くだもの)

Greeting あいさつ  
Song 歌  
Warm up ウォームアップ  
Today's plan 今日の予定  
Communication Activities 活動  
Feedback ふり返り

TODAY'S WEATHER IS  
TODAY IS  
Sunday  
Monday  
Tuesday  
Wednesday  
Thursday  
Friday  
Saturday

English role エンゲージメントのやり方  
Clear voiced (はっきりした声)  
Eye contact (アイコンタクト)  
Nice smile (笑顔)  
Good response (返事)